

## 第35回子ども・子育て分科会等での意見について

### 1. 調査全般

No.	ご意見・ご質問内容	回答等
①	インターネット回答、紙回答を選べるようにできないか。	<p>原則インターネット回答といたしますが、回答者が希望する場合は紙での調査票を送付・回収し、事務局で代行入力する予定です。</p> <p>また、「子どもの生活等に関する実態調査」については、児童生徒（小5、中2）には、紙の調査票もあわせて送付し、紙での回答も可能とする予定です。</p>
②	原則インターネット回答とした理由は何か。その理由が経費削減である場合は、比較資料が欲しい。	<p>インターネット回答とした理由は、以下のとおりです。</p> <p>①ペーパーレス化による経費削減（約420万円の削減）が見込めるため</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入力作業代 約270万円</li> <li>・返信用郵便代 約100万円</li> <li>・調査票、返信用封筒印刷代 約 50万円</li> </ul> <p>②主な調査対象となる子育て世帯は、インターネットの利用率も極めて高く、インターネットでの回答形式にも親和性が高いと考えられるため</p> <p>③インターネット回答では、回答の入力漏れや記入ミスを自動的にチェックすることができ、回答データの整合性と正確性が向上するため</p> <p>その他、随時回答状況の確認が可能であること、ペーパーレス化による環境負荷の低減なども挙げられます。</p>

No.	ご意見・ご質問内容	回答等
③	e-kanagawaでの回答としたアンケートの前例はあるか。ある場合は、その結果と効果が知りたい。	<p>直近に他課で実施した「横須賀市地域福祉に関するアンケート調査」（令和5年6月～7月実施）の結果は以下のとおりでした。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・配布 3,000人 (18歳以上から、無作為抽出)</li> <li>・回答 1,256人 (回収率41.9%) うち、紙回答 971人 (77.3%) 電子回答 285人 (22.7%)</li> </ul> <p>紙回答も多い一方で「紙回答は50代以上が約70%を占める」ため、今回のニーズ調査・生活実態調査が対象とする子育て世代には、電子回答（インターネット回答）も相当有効であると考えられます。</p>
④	インターネット回答で集まらなかった場合の対応はどう考えているか。	<p>回収率を上げるため、以下のような取り組みを行っていきたいと考えています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・協力依頼ハガキの再送付</li> <li>・関係機関でのチラシ掲示 など</li> </ul> <p>また、途中経過において回収率が著しく悪い場合については、対象者の追加（再抽出）も含めて検討いたします。</p>
⑤	スマートフォン以外にも、PCやタブレットでも回答できるか。回答ページへの誘導方法はどうか？（スマートフォンと同じQRコード？URLを入力？）	<p>スマートフォン、PC、タブレット端末でも回答できるよう、QRコードとURLの両方を記載した案内文を送付予定です。</p>
⑥	スマートフォンの画面で見えることを前提に、設問の設計をしてもらいたい。	<p>スマートフォンの画面で見えることを前提に、設問の設計を行います。</p>
⑦	スマートフォンの画面で見える時、各調査で「何画面」になるのか。	<p>スマートフォンの機種によっても異なるため、画面数はカウントできませんが、審議会時に画面のイメージを表示する予定です。</p>

ご意見・ご質問内容		回答等
⑧	市役所関係者でもいいので、実際に子どもや保護者に回答してもらい、検証すること。また、その感想を分科会に示してほしい。	実際に就学前児童や小学生の子を持つ職員で検証を行いましたので、感想などを審議会で簡単にご紹介いたします。
⑨	ニーズ調査の送付数を3,000人に限定せず、対象者全員に送付してはどうか。	一般的に1,000人以上の回答を回収できれば信頼できるデータになるため、前回調査も3,000人に送付し、1,000以上回収できているため、今回も同様の3,000人を対象に送付予定です。
⑩	実態調査の小学5年生や中学2年生本人の回答方法について、インターネット回答以外に考えられないか。(学校での回答、親にスマホ借りずに回答できる方法)	<p>「子どもの生活等に関する実態調査」については、児童生徒(小5、中2)には、紙の調査票もあわせて送付し、紙での回答も可能とする予定です。ご質問等がある場合のために、問い合わせ電話番号を明記します。学校での個別対応については、時間的な制約もあり難しいと伺っています。</p> <p>アンケートの回答は、個人の特定ができないため、アンケートを通して支援につなぐことは困難です。本市では、ヤングケアラーもネグレクトの一部として認識しておりますので、学校からは通常の支援の中で、児童相談所にご相談いただけます。</p>
⑪	実態調査の小学5年生や中学2年生本人が答えやすいように、家以外で回答できる「入力用の窓口」を学校(放課後や休み時間)や市役所(行政センター)に作れないか。	
⑫	<p>学校で全員一斉に実施することは困難</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育課程外であるため、授業時間の中では実施不可</li> <li>・休み時間、放課後でも子どもなら40分～50分かかり、教育活動に支障が生じる</li> <li>・保護者の知らないところでヤングケアラーの回答は困難。SNS等で保護者間にも伝わり保護者対応が生じる可能性もある。</li> <li>・実施後に、子ども同士で話になり、差別や偏見、いじめが生じることも懸念される。</li> <li>・ヤングケアラーの設問に回答した後のサポート体制は事前に組めるのか。学校が把握した時はその後どう動くべきか明確にしておく必要性を感じる。</li> </ul>	
⑬	学校での対応が個別での対応(放課後相談室など)となる場合であっても、教育委員会や校長会と調整をお願いしたい。	
⑭	調査票の文言に「あてはまる番号に○」とあるが、Web版では自分が選んだ選択肢は●になるなど、選択した項目が分かるのか。	設問により異なりますが、自分が選択した選択肢が分かるように表示されるシステムになっています。

ご意見・ご質問内容		回答等
⑮	QRコードによる回答だが、パスワードや認証方法など、なりすましや、いたずら対策はどうなっているか。	<p>【ニーズ調査】 3,000人を無作為に抽出し、無記名で回答する形式のため、なりすましは想定していません。</p> <p>【生活実態調査】 保護者と児童生徒を結びつけた集計が必要なため、世帯ごとに割り当てるナンバーを入力していただきます。(ナンバーは不規則に割り当てるため、個人特定はできない形とします。)</p>
⑯	実際にやってみましたが、全問30分ほどかかった。「時間に余裕があり、内容を読んで理解して回答できる方」だけのデータが前提の調査で果たしてよいのか、と思った。	<p>前回調査結果も基本的に完答いただいた方の回答が主であり、調査の経年比較をする上でも同規模で前回の設問を可能な限り活かしたかたちで実施することがよりよいと考えています。 なお、新たに加えたヤングケアラーの設問は必要最小限のものに変更します。</p>
⑰	「子どもまんなか社会」が提唱され、子どもがいる社会、子どもの声が響く社会を目指し、幼児期は、生きる力の基礎を培う大切な時期、そこで得た力を更に育てられるよう架け橋期のプログラムの共有など、学校や地域社会と連携していけるような支援策が講ぜられる新計画の基礎調査となるとよいと思う。	<p>次期計画策定の際には、こどもを中心に置くという姿勢がより大切になってくると考えます。ご意見いただきました視点も踏まえながら、次期計画の策定ならびに各調査を実施して参りたいと考えております。</p>
⑱	次期未来プラン策定に鑑み、横須賀らしい未来に夢がもてるようなプランにするためのポイントはなにか？そのための調査は出来るだけ回答しやすく、調査項目についてもわかりやすくコンパクトにそして経年調査等にも配慮した調査票になるとよいと思う。	<p>基本的には国の手引きに基づいた内容となりますが、回答者の目線で回答しやすいアンケート内容となるように表現や表示について確認しながら作成していきます</p>

## 2. ニーズ調査について

### (1) 就学前児童

設問番号	国	ご意見・ご質問内容	回答等
15		問13で不安やストレスはほとんどないと回答しているにも関わらず、誘導される問15で「辛い」気持ちを問う内容に少し違和感がある。	問13は、問14で不安やストレスの原因を聞く際の事前質問である一方で、問15は第2期プランで目指す姿の一つ「子育てを楽しみと思えるまちを目指します」(58頁)に対する、市民の実感をはかるための設問となっているため、経年変化を行うためにも当初案どおりとします。  なお、問13から回答内容を問わず、問15は全員にお尋ねする設問となっています。
16		選択肢の「支援」「充実」が何を指しているか分りにくい。	より施策のイメージがしやすいよう、選択肢の文言を修正しました。(現行プランの施策の各柱を参考に、具体例も追記)
17		(理想のお子さんの人数は)「0人」という回答もありか。 理想的な人数ではなく、授かった人数というのではいけないか。	「0人」の回答は可能です。 なお、授かった人数は問3でお子さんの人数を回答するため、当初案どおりとします。
17-1		選択肢の「15 その他」は、 ・障害児がいる(選択肢8や10を選びたくない) ・死産・病死・事故死(選択肢として用意しにくい) の回答も想定しているのか。	ご意見にあります2つの理由については、心情的にも選択肢としては用意しにくいいため、「15 その他」で記載されるものと見込んでいます。
18	◎	設問の最初に「あて名のお子さんの…」というフレーズが毎回繰り返される。省略してはどうか。	あて名のお子さんの事ではない設問もあるため、より正確な回答を促すためにも、当初案どおりとします。
27	◎	問19まで設問を確認しに戻らなければならず、分かりにくい。	問19に戻らずに自分の回答が意識できるよう、設問の文言を修正しました。 なお、インターネット回答では、選んだ選択肢に応じて、その後回答不要になる設問は自動で消える設定になっています。

設問番号	国	ご意見・ご質問内容	回答等
20の下 30の下 31の下	○		<p>調査のボリュームを少しでも減らすため、省略可能な設問は省略することとします。</p> <p>なお、<u>いずれも国の手引きでは必須項目ではない</u>ため、以下の理由によりそれぞれ省略しています。</p> <p>①【20の下】 省略した設問：教育・保育事業を利用したい場所は、市内か市外か。 省略理由：市外である場合は市として確保する必要がなくなるが、市内で利用する可能性もある以上は、ニーズとして把握しておくべきであるため</p>
37の下	◎	国の実施項目が実施されないことになっているが、問題がなければ実施すべき	<p>②【30の下】 省略した設問：一時預かりの預け先の事業形態について、「大規模か小規模どちらがいいか」 省略理由：大規模と小規模どちらがいいか、一概には判断しにくく、客観的な回答につながらないため</p> <p>③【31の下】 国の手引きで削除・修正予定（下欄参照）</p> <p>④【37の下】 省略した設問：未就学児の子に対して、小学校高学年になった時の放課後の居場所について 省略理由：現在5歳のお子さんに対して、小学校高学年での放課後の過ごし方を聞いてもイメージしにくく、回答に窮すると考えるため</p>
31の下	○	「子どもを泊りがけで預けたときの困難の程度」を国手引きどおり設問に入れてほしい。 (障害のある子を預ける時は大変。市内には宿泊で預けられるところがない)	<p>国の手引きで削除予定 なお、短期入所（ショートステイ）に関するニーズについては、同じく国の手引きで追加された問31-1で別途聞くかたちになっています。</p>
なし ↓ 今回資料 32-1-1 32-2-1		育児休業の設問について、勤務先が「市内」か「市外」聞けないか。（商工会議所として、市内企業の育休取得の取り組みは大事だと思っている）	ご意見のとおり、設問（32-1-1、32-2-1）に追加いたします。

◎ : 国の手引きにより必要となる設問（量の見込みの推計に使用）

○ : 国の手引きにより必要となる設問

(2) 小学生

設問番号	ご意見・ご質問内容	回答等
15	<p>選択肢の「支援」「充実」が何を指しているか分りにくい。</p>	<p>より施策のイメージがしやすいよう、選択肢の文言を修正しました。(現行プランの施策の各柱を参考に、具体例も追記)</p>
16	<p>(理想のお子さんの人数は)「0人」という回答もありか。 理想的人数ではなく、授かった人数というのではいけないか。</p>	<p>「0人」の回答は可能です。 なお、授かった人数は問4でお子さんの人数を回答するため、当初案どおりとします。</p>
16-1	<p>選択肢の「15 その他」は、 ・障害児がいる(選択肢8や10を選びたくない) ・死産・病死・事故死(選択肢として用意しにくい) の回答も想定しているのか。</p>	<p>ご意見にあります2つの理由については、心情的にも選択肢としては用意しにくいため、「15 その他」で記載されるものと見込みます。</p>
17-1-1 17-2-1	<p>週休日が不定休(シフト制)の方は、三項目すべてに○をつける、という想定か。</p>	<p>不定休(シフト制)の方は、最も多いパターン(曜日)での回答を想定しています。 週休日の回答欄に、再度「※週休日が一定でない場合(シフト制など)は、もっとも多いパターンについてお答えください。」を追記します。</p>
19 ↓ 今回資料 19-1 19-4	<p>週○日と決まっていない不定期利用の方は答えにくいのではないかと。設問に「だいたい平均して週当たりの利用日数を・・・」と追加したらどうか。</p>	<p>設問、そして解答欄の後ろに、週○日「くらい」と記載することで対応します。</p>
19 22 ↓ 今回資料 19-4 22-4	<p>選択肢の「自宅」は、二世帯同居で祖父母の所にいるのも含まれるか。</p>	<p>「自宅」内で、児童本人もしくは同居家族と過ごすことを想定しているため、祖父母が「同居」の場合は含まれます。 誤って「2. 祖父母宅」を選ぶ可能性は少ないと考えますので、当初案どおりとします。</p>

### 3. 実態調査

#### (1) 小5保護者

設問番号	ご意見・ご質問内容	回答等
16	答えにくい設問だと感じる。 特に⑤子どもの食費は、家計簿を詳細につけていけば話は別だが。	各家庭での実態を把握するためには必要な設問と考えています。
18	住居費負担、公的年金と社会保障給付金以外の収入について、調査目的からここまで調査が必要か疑問	前回の集計ではOECD（経済協力開発機構）による相対的貧困の定義に基づき、世帯人数と収入をもとに分類しました。今回も同様の設問としたいと考えています。
20	②キャッチボールは球技とし、他にも、水泳やサイクリングなども考えられる。（現代では様々な運動をしている）	現在は、様々なスポーツや遊びがありますが、親子でともに身体を動かすイメージしやすい一例として「キャッチボールなど」をあげました。
23～26 ↓ 今回資料 23～25	ヤングケアラーだけでなく、ケアラーについても聞かれているように、見えてしまう。 ※中2保護者も同様	主語が児童と保護者と混濁しそうな問24-3を削除します。 保護者の相談ニーズについても把握したいため、問25、問25-1、問25-2は当初案のままとします。 問26は削除します。
24	問23でまずお手伝いするかしないか、更に問23-1でその内容を聞いているのに、問24では「問24-1の選択肢を担うことがあるか」という聞き方になっていて、統一されていない。そもそも、問24の時点で、問24-1の選択肢は表示されるのか。  については、以下のいずれかにしてはどうか。 ①問23、問24ともに「お子さんが家で以下のことをすることがあるか」と最初から選択肢を選ぶ設問にし、選択肢の最後に「いずれもない」を加える。 ②問24を問23と同じように質問にする。（「お手伝い以外にお子さんが家族の代わりに家事や家族のお世話をすることがありますか？」）	問24の設問を「お手伝い以外にお子さんが大人の代わりに家事や家族のお世話をすることがありますか。」に変更します。
24	小5保護者と中2保護者で、設問の文言が異なっている。文言は統一した方がよい。	保護者の設問に関しては、学年を問わず、文言を統一します。
24-1 ～24-4 ↓ 今回資料 24-1 ～24-3	設問に「問24であると回答した人のみ回答」と入れた方が分かりやすい。	回答箇所について、わかりやすく表記するようにします。



設問番号	ご意見・ご質問内容	回答等
24-2	「家族に世話を必要としている人がいるか」と「家族に世話を必要としている人がいて且つ子どもがその世話をしているか」混同してしまうのではないかと。 ※中2生徒向けも同様	「家族でお世話を必要としている方の状況を教えてください」に変更します。
24-3	設問に「子どもが」という主語がないため、子ども以外の人も含めた全般の頻度で答えてしまうのではないかと。 ※中2生徒向けも同様	問24-3は削除します。
25 26	この設問に行く前に、そもそも家庭内にケアが必要な方がいるのか、いないのか聞いた方がいいのでは。 もしくは、問25-2の選択肢で「お世話を必要としている家族がない」を追加してはどうか。（選択肢を追加する場合は、問25-3の設問も「問25-2」で「お世話に必要としている家族がない」と答えた人以外にお聞きしますと修正）	問25において、「ない」の回答項目を設けているため、お世話やケアを必要とする方がいない場合の選択肢になり得ると考えます。 さらに、問25-2の選択肢に新たに「家族の中にお世話やケアを必要としている方がいない」の項目を追加します。 問25-3、問26は削除します。

## (2) 中2保護者

設問番号	ご意見・ご質問内容	回答等
16	答えにくい設問だと感じる。 特に⑤子どもの食費は、家計簿を詳細につけていれば話は別だが。	各家庭での実態を把握するためには必要な設問と考えています。
26	選択肢として、「（必要としている支援はない）」もあるとよい。	問26は削除します。

(3) 小5児童

設問番号	ご意見・ご質問内容	回答等
1	①マンガは雑誌に変更してはどうか。 (マンガは学習漫画でなくても20年以上前から学校図書館にも配架されており、近年は評論書や大学に博物館があるなど文化となっている)	この設問は、子どもが欲しいものを持っているか否かによる充足感を確認したい設問であり、マンガの所有も充足感につながるものであると考えるため、「ふくみません」の部分から削除します。
1	単純に、⑧はおもちゃや文房具、⑩は服ではだめか。友達と同化したい、横並びを意識していることを訊きたいのか。(それならば、むしろ⑦ゲーム機にその傾向があるように感じる)	周りの子どもたちと自身を比較することで生じる満足感や不満感を把握することが目的とした設問です。
3	小5にとっては答えるのに迷う。設問を「～どこで過ごすことが多いですか」の方が答えやすい。	各場所ごとで過ごしている頻度を確認したいため、「どこで過ごしていますか」に変更します。
3	④学校(クラブ活動)の「クラブ活動」は削除した方がよい。 (小学校のクラブ活動は、月1回程度6時間目に授業として行うものを指すため)	ご指摘のとおり削除します。
7	学習(宿題、予・復習など)がない。問33以降で出てくるのが理由であれば、逆に⑦の塾も削除した方がよい。	問37(今回資料問35)で「学校以外の学習時間(自習)」を聞いています。問7では「塾も含めた習い事」、問38(今回資料問36)では「塾や家庭教師(自習以外の勉強)」の生活に占める時間を聞く設問としています。
7	選択肢にyoutubeは入るか。最近の子どもは②テレビではなく、youtubeの視聴をよくすると聞く。	「②テレビを見る(YouTubeなどの動画配信視聴も含めます)」に変更します。
40 ↓ 今回資料 39	子どもにとっては設問の意味が分からなそうだが、設問に対する回答はどのように想定しているか。	これらの設問は子どもたちの自己評価や自身への認識を確認することを目的としています。特に想定した回答はありませんが、子どもたちが自身をどのように感じているか、また家庭環境でどのような扱いを受けているか、子どもたちの自己肯定感、心の健康状態や幸福感を把握し、支援の検討に活かしたいと考えています。
41 ↓ 今回資料 40	全ての項目に(家や学校以外で)と記載するのであれば、設問の初めに書いた方がよい。特に①②④の記述が紛らわしく感じる。	そのように変更します。

(4) 中2生徒

設問番号	ご意見・ご質問内容	回答等
全般	中学生本人の調査票にも「ルビ」を振った方がよい。 (最近は色々なバックグラウンドを持つ子も多く、読むことが苦手)	紙にはルビを振り、Webには振らない (仕様上難しいため) こととします。 ご質問等がある場合のために、問い合わせ電話番号を明記します。
全般	中学生本人には原則「ルビ」なしでよい。 「ルビ」が必要な人には、アンケート内容も十分理解できないのでは。 →「ルビ」入りは希望があった場合に渡すこととし、アンケートの内容が分からない場合の問い合わせ先を設けるのはどうか。	
7	学習(宿題、予・復習など)がない。問33以降で出てくるのが理由であれば、逆に⑦の塾も削除した方がよい。	問38(今回資料36)で「学校以外の学習時間(自習)」を聞いています。 問7では「塾も含めた習い事」、問39(今回資料37)では「塾や家庭教師(自習以外の勉強)」の生活に占める時間を聞く設問としています。
7 ↓ 今回資料 8	選択肢にyoutubeは入るか。最近の子どもは②テレビではなく、youtubeの視聴をよくすると聞く。	「②テレビを見る(YouTubeなどの動画配信視聴も含めます)」に変更します。
9	「からだを動かすこと」とは何か? 問8と重複するのではないか。	部活動、自発的な運動、友人との遊びなどを想定しています。 問8では「活動の種類ごと」、問9では「30分以上の運動」の生活に占める時間を聞く設問としています。
15~24	「あなたが」等主語がないため、子どもにはわかりにくいのではないか。	一部の項目には「あなたが」もしくは「あなたは」を追記します。